



講師からていねいな説明を受ける参加者

スマホをもっと便利に！スマホ教室開催

岩崎地区集落支援事業の一環として、シニアや初心者を対象とした「スマホ教室」が岩崎支所で開かれ、12名が参加しました。ドコモショップのスタッフを講師に迎え、カメラや動画の基本操作、QRコードの読み取り方を習得。さらに、アプリの追加方法や「深浦町防災アプリ」の初期設定のほか、7月に運用開始した「深浦町公式LINE」の友だち追加とゴミ出しリマインド通知の設定を学びました。

ていねいなサポートのもと、参加者はスマホへの理解を深め、生活に役立つ活用法を楽しく身につけました。

7/3

海の生き物とふれあい体験

青い鳥保育園で海の生き物とふれあう自然体験学習が行われました。

講師の永澤量さん（12区）は、手作りのボードで海の生き物を紹介。園児たちは永澤さんが用意した小さいエビやカニ、海藻、サザエなどの生き物を近くで見たり、触ったり、捕まえてふれあっていました。中には、海開きで泳いだ際に見た魚や貝などを永澤さんに教えている園児もいました。

永澤さんは「山と海がある恵まれた環境にいるなかで、深浦の海にこんなに生き物があると知って少しでもふるさとに愛着を持ってもらいたい」と語りました。

7/16



海の生き物に興味津々



「メゴイカ」を使い乗車体験する参加者

栄養チャージ！お出かけサポート講座

深浦町農業環境改善センターにおいて、「弘南バスの乗り方教室」と「健康教育講座」が2部構成で開催されました。

第1部の乗り方教室では、弘南バス職員による基本的なバスの乗り方や注意点の説明を受けた後、ICカード「メゴイカ」を使用しバスの乗車体験をしました。

第2部の健康教育講座では、健康推進課の柏倉栄養士から元気に過ごすための食事について、夏の食欲不振対策のポイントなどの説明を受けました。その後は、食生活改善推進委員の作った「鮭バターごはん」や「しゅうまい源たれスープ」の試食を行いました。参加者からは「近い将来バスを利用することになると思うので予習できてよかった」「手軽に調理でき、おいしいメニューでした」との感想がありました。

7/14

深浦診療所吉岡秀樹所長 永年勤続者表彰を受けました！

青森県自治体病院開設者協議会では、長年にわたり市町村立診療病院に勤務、尽力し、その発展向上に功績のあった勤続年数10年以上の医師等を表彰しています。

吉岡秀樹所長は、平成30年8月から深浦診療所所長として勤務されていますが、以前は、大間病院副院長や大畑病院院長等を歴任してきた功績を評価され表彰となりました。

同協議会から贈られた表彰状と記念品は、町長室において平沢町長から吉岡秀樹所長へ伝達表彰されました。

7/28



表彰状を掲げる吉岡秀樹所長(写真左)

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

まちかどウォッチング

高品質への再確認 夏秋トマト出荷目揃会

今年の夏秋トマトの本格出荷を前に、JAつがるにしきた深浦野菜生産部会の「夏秋トマト出荷目揃会」が開催されました。

トマトの栽培管理や出荷基準、市場の動向などの説明が行われ、参加した生産農家は真剣な表情で聞き入っていました。大船晴雄部会長は「資材の高騰や手数料の値上げ、酷暑など栽培環境が難しくなる中でも、生産者一人ひとりの努力と工夫により、高品質なトマトが生産されています。これからも順調にトマトが生産できるようがんばりましょう。」と呼びかけました。

深浦産の夏秋トマトは、県内有数の反収を誇り、町を代表する農産物のひとつとなっています。今年は、高温・多日照傾向で経過したことにより、生育はおおむね順調です。

トマトの生産は出荷総数210トン、販売総額8,800万円を目標に11月上旬まで続きます。

6/23



今年のトマトの状態を確認



軽快なトークを披露した櫻庭さん(写真中央)

画家 櫻庭 利弘さん、ギャラリートーク

深浦町出身の画家・櫻庭利弘さん（91）（柳田出身、五所川原市在住）が「大櫻庭利弘展」開催期間中に深浦町美術館でギャラリートークを開きました。トークの内容は、櫻庭さんの「絵を描くことの原点」。駆けつけたファンは、あまり語られることのなかった画風にまつわるエピソードに聞き入り、ユーモアを交えた軽快なトークで会場は大盛り上がりでした。7月19日まで開催された同展示には、町内外から多くの方が訪れ、櫻庭さんの絵画を鑑賞しました。

7/1

きらら保育園、ねぶた披露

きらら保育園の園児たちが、JR陸奥岩崎駅前で作ったねぶたを披露し、練り歩きました。

園児たちが作ったカメやカラフルな魚など海をモチーフにした作品がちりばめられており、夏にピッタリなねぶたになっていました。

ねぶた披露後は、お遊戯を披露し、駅前を訪れた保護者や地域住民の方々を沸かせました。

園児たちは「ねぶたを引くのが楽しかった」「ねぶたも踊りも頑張った」と感想を述べ、用意されたアイス頬張り、満足した様子でした。

7/3



ねぶたを引っ張る園児たち